PLACE OF DISCOVERY

人と関わり、新たな視点で一歩先を行く学校

ノートルダム学院小学校
Notre Dame Elementary School

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1-2
TEL 075-701-7171(代) / FAX 075-712-6170 https://www.notredame-e.ed.jp

NOTRE DAME ELEMENTARY SCHOOL 2025

ノートルダム学院小学校

School Guide 2025
Notre Dame Elementary School

ミライは 思いやり×思考力

覚える教育から、共に考える教育へ。

未来社会は、大きく変化していくでしょう。科学技術の発展や
AIは、その発展をますます進めていきます。
現在の仕事の半数は無くなり、想像もしなかった仕事が生まれ、
今の子どもたちはこの大きな変化の時代に生きていくことになります。
正解やゴールの見えない未来に向けて必要なのは、AIや科学技術だけでは担えない
人間としての土台「人を思いやる心」それと「思考力」というエンジンです。
私たちノートルダム学院小学校は、尊ぶ、対話する、共感する、行動する、をモットーとして、
聖母マリアに倣った思いやりの心を持ち学ぶことが真の教育と考えます。
その力が隣人のため、社会のため、そしてこの世の中の発展のために繋がり
子どもたちの未来が希望あるものになるよう歩みたいと考えます。

ミライに必要な
チカラを
身につけよう!

OPEN UP THE FUTURE

思考力の育て方とは？

世界は“かかわり”によって成り立っています。
自然、物、他者、自分自身、さまざまなかかわりの中で人は成長することから
私たちノートルダム学院小学校は「思いやりの心」を土台に
教科と体験を連動させ、子どもたちの思考力を育てています。

ノートルダム学院小学校 3つの柱

	得られるチカラ
学び	●未知の物事に対する高い知的好奇心 ●言語を駆使し、自身の意見を伝える発信力 ●中学・高校で更に伸びていく学力&思考力
英語	●曖昧さに耐えて理解しようとするチカラ ●日本語に通じるすぐれたコミュニケーション力 ●自分の思いを聞き手に伝えるプレゼンテーション力
体験	●知力・体力・精神力が融合した成長 ●他者と融和し、課題解決に向かう社会性 ●日本の伝統や文化を礎に育む国際感覚

Project Based Learning

PBL（思考力教育）

自ら考えること。課題の発見や解決の起点となるのは「思考力」です。
ノートルダムでは、児童が「自分の考え」を持つことを大切にしています。
「人の意見や心」とも向き合い、受け入れる力。
それらを種に新しい答えを創造する力。
予測不能な未来にあっても、翻弄されることのない、
個性あふれるクリエイティビティを育てます。

徳と知 Mission Commitment

『尊　ぶ』
人と自分、物と自然の全てに敬意をもって向き合います。

『対話する』
心をこめて聴き、かかわりから学び、真理を探究します。

『共感する』
心を開き、人や時代の要請に敏感な感性を持ちます。

『行動する』
対話し、決断し、責任をもって人々の幸せと
世界平和のために行動します。

なぜ勉強が必要なの？

世の中の本質を知る「学び」

- 教科担任制による深い学び
  高い基礎学力にもとづき、思考力を伸ばす。
- 知識を活用し、新たな価値観を創造する。

Step.1

実際に見てみよう！

“わかる”“できる”が楽しいを生む

読み、書き、計算、高い基礎知識

AIドリルの活用による知識の定着

1・2年生

国語・算数など基本教科は担任
英語・図工・音楽・宗教は専科

低学年の子どもたちにとって大切なのは、学びに対する“自信”です。自信が学ぶ楽しさとなり、自己肯定感につながります。そのため、低学年の学習は教科書を基本として進めます。一人ひとり丁寧に、“わかる”“できる”実感をもたせます。

Step.2

実際に見てみよう！

広がる学びが、学び合う楽しさへつながる

プレゼンテーション活動、グループ学習

iPadの活用

3・4年生

自主的な学びの定着
理科・社会：教科担任制

中学年では、教科書の枠を超えたチャレンジをしていきます。3年生から理科・社会が始まり、教科担任制も始まります。専門知識を備えた教員が、子どもたちの学びを適切に把握し、学び合いの中で“やってみたい”“チャレンジしてみたい”を後押ししていきます。（学年の状況により専科となる教科は異なります。）

Step.3

実際に見てみよう！

深まる 創り出す そして未来へ

他学年への発表活動

企業とのコラボレーション、社会貢献活動

5・6年生

教科担任制による授業指導
算数の習熟度別クラス

高学年では、思考力を深め自分だけの考えを作り上げていきます。そのため、思考力の土台となる知識を徹底的に習得します。その上で、それぞれの教科で発表活動を積極的に取り入れ、新たな考えや価値観を作り出す子どもへと導きます。

得られるチカラ

未知の物事に対する
高い知的好奇心

言語を駆使し、
自身の意見を伝える発信力

中学・高校で更に伸びていく
学力＆思考力

世界へ羽ばたくには？

思いを伝える「英語力」

- 確かな英語力を支える4技能（聞く、読む、話す、書く）
- 英語が身近な教育環境
- 教科を越えたプロジェクト型言語学習

Notre Dame English

本校の英語教育では、インプット（聞く読む体験）を大切にしています。低学年ではたくさんの良質なインプットを通して、曖昧さに耐えて、英語を聞いて理解しようとする力を身につけます。中・高学年になると、英語で思いが伝わることの達成感や楽しさの体験を重ね、自分で伝えたいという発信力（アウトプット）を自然に育てます。本校では、自分の言葉で発信するための英語の基盤を、小学校の6年間で築いて欲しいと考えています。

Step.1

実際に見てみよう!

Input First
歌って踊って聞いて
話して楽しい英語学習

1年生
自己紹介
名前や好きな食べ物、好きな色などについて質問し合い、自分のことを伝えられるようになります。

2年生
英語劇
お話と自分の役を理解し、友だちと協力しながら発表します。

動物紹介（Habitat）
自分の好きな動物や身の回りのことなど、自分以外のことを伝えられるようになります。

ノートルダム独自のカリキュラム。教科としての英語だけでなく、毎日、英語に触れる環境があります。

English Everyday Program

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
ND English Module	English Broadcasting	English Storytelling		ND English Module

子どもたちの一週間は、授業内で扱った語句や歌をくり返し学ぶモジュール学習（短時間学習）で始まります。このモジュール学習は、子どもたちにとって、担任と英語を学ぶとても楽しい時間です。水・木曜日はネイティブ教員の英語の"読み聞かせ"タイムで、英語の世界にひたります。そして週末の金曜日。一週間で学んだことをモジュール学習で振り返ります。このようにノートルダムには、授業内にとどまらず"日常生活の中に英語"があふれています。

Step.2

クラスメイトから姉妹校へ。
伝える相手が広がる。
英語の世界が広がる。

3年生
NDレストラン
世界の食べ物を調べ、そのレシピを紹介します。さらに、NDレストランをオープンし、オーダーのやり取りを楽しく学びます。

4年生
水の大切さ（理科・社会・算数）
地球の水について学習し、3年生にグループ発表します。

ネパール姉妹校との文通
相手の国に興味を持ち、伝えたいこと知りたいことを、英語を使って文通相手とやり取りをします。

Step.3

実際に見てみよう!

「読む力」「書く力」と共に
英語の世界が深まる。

5年生
未来都市（図工）
世界の様々な建物や暮らしを知り、自分で考えた未来都市の作品を友達や家族に紹介します。

6年生
中学への架け橋
「読む」「書く」を重点においた問題に取り組みながら、中学英語学習の準備をします。

得られるチカラ

- 曖昧さに耐えて理解しようとするチカラ
- 日本語に通じるすぐれたコミュニケーション力
- 自分の思いを聞き手に伝えるプレゼンテーション力

本当に賢い人って?

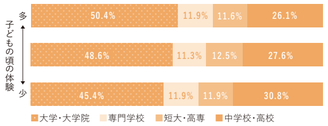
行動力を身につける「体験」学習

- 本物に触れることによる知識の定着。
- 他者とのかかわり、仲間との協働、共感による成長。

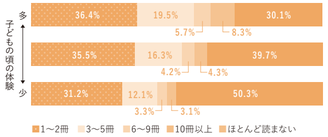
子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、
やる気や生きがいを持っている人が多い。

子どもの頃に「自然体験」や「友達との遊び」などの体験が豊富な人ほど、「もっと深く学んで見たいことがある」といった物事に対する意欲や関心、「電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずる」といった社会における模範意識、「社会や人のためになる仕事をしたい」といった職業意識が高くなる傾向があるという調査結果があります。

◎子どもの頃の体験の多寡と「最終学歴」との関係



◎子どもの頃の体験の多寡と「1ヶ月に読む本の冊数」との関係



（出典：国立青少年教育振興機構）

実際に見てみよう!

Step.1
基礎学習

自然との共生・考えを伝える力

友達への思いやり・仲間との助け合い

▶1年生：大茶会
関連科目 生活／図工

お家の方をお客様として招き、おもてなしをして感謝の心を伝えます。子どもたちはお客様のことを思いながら、お作法やお点前を学び、お菓子をつくり、おもてなしの心を学びます。

▶2年生：ちいきたんけん
関連科目 生活

校区地域について地図を作り、学校のまわりにあるお店、公園、施設を調べ、訪問し、役割をみんなに知らせます。

実際に見てみよう!

Step.2
学びの発展

教科学習と体験活動の相互作用による真の学び

伝統文化や作法の学習

▶3年生：京都大研究
関連科目 社会／国語

身近な京都について調べて興味を持ち、京都の良さを知ります。また、伝えたいことをグループで話し合い、京都の良さを人に伝えます。

▶4年生：稲作 ND米を育てよう
関連科目 社会／理科

稲作の流れ、歴史について学び、実際に山の家で栽培します。収穫した米は、バザーで販売して収益を利用したり、もち米で校内ももちつき大会を計画します。

実際に見てみよう!

Step.3
ハイレベルな学び

進んで課題を設定し、解決に向かう心

社会問題に積極的に関わる心

▶5年生：遠 泳
関連科目 体育

泳力はもちろん、隊列を作り泳ぐことで仲間と力を合わせて目標を達成する意味を知り、困難に打ち勝つ力を身につけます。

▶6年生：ディスカバリー
関連科目 社会／理科

コース選択型修学旅行は、一人ひとりが学習課題を持って、コースを選び、現地に赴きます。終了後には、5年生に向けてディスカバリーの発表をし、伝えます。

得られるチカラ

知力・体力・精神力が
融合した成長

他者と融和し、
課題解決に向かう社会性

日本の伝統や文化を礎に
育む国際感覚

PBL実践授業／1往復が1秒になるふりこをつくる

Project Based Learning

探究心を育てる PBL型授業の実践

探究学習では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の過程をらせん状に繰り返す。

小学校5年生の理科「ふりこの運動」でのPBL実践授業の様子。自分たちで考え、学ぶ授業の様子をご紹介します。スペシャルムービーでは生き生きと学ぶ児童の姿をご覧いただけます。

課題の設定

問題を理解

この単元での学びを伝え、子どもたちがやる気になるゴールを設定する。今回のゴールは「1往復（周期）が1秒になるふりこをつくろう」。

情報収集

実験の計画

課題達成に向け、実験に必要な技能と知識を確認する。グループ毎に「なぜこのやり方なのか」を常に意識しながら、実験の方法を確認し、必要なものを準備する。おもりの重さ、ふりこの糸の長さなどの条件に着目する。

整理・分析

実験・課題の深堀・解決策の策定

仮説→実験→検証を、記録しながら何度も繰り返す。なぜそういう結果になったのか、どのように改善すればよいか、個々に考えた意見についてグループで話し合いながら取り組む。

まとめ・表現／リフレクション

アウトプットと評価

しっかり伝わるようグラフや写真を用意し、実験の結果をまとめて発表する。発表の準備をすることで自分の考えを整理できる。また、他者の意見を聞くことで、新たな気づきを得られ、次への課題を見つけることができる。

先生の声

一見簡単そうで、実は難しい絶妙な難易度の課題に、みんな真剣でした。「1秒はどこまでが1秒？」「完成したそのふりこは、誰が何回やっても1秒？」といった質問が子どもたち自身からでて、誤差や再現性という実験の必要条件についても深めました。課題を突き詰めていく中で、自分が納得のいく結果が出た時の達成感は格別です。学びは自分の可能性を広げてくれる。ここに気づくだけでも十分に価値があるんです。この気づきが次の学びへの意欲を生み出してくれるのです。

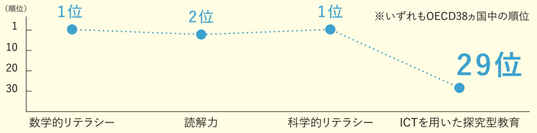
児童の声

初めは、すぐにできるかなと思ったのですが、微調整が難しくて苦戦しました。今回の実験では、0.5秒の誤差が生じましたが、反省を生かし次こそは1秒ぴったりのふりこを作りたいです。今回のような正解がないプロジェクトは、 答えが決まっていないので、友達と協力しながら自分たちで解決への道のりを作っていかなければいけません。その道のりの中で失敗もしますが、それも成功への過程の一つだと思っていつも頑張っています。PBL 授業は本当に面白いのでおすすめです。

実践授業の様子は左ページの二次元コードにて公開中

ICTを駆使して世界基準の探究型授業へ

PISA2022の調査結果によると、日本は［数学的リテラシー・読解力・科学的リテラシー］は高いレベルにあるが、［ICTを用いた探究型の教育の頻度］に弱点があります。



OECD生徒の学習到達調査 PISA2022のポイントより

PISAと同時に行われたICT活用状況の調査より

PISA調査とは 義務教育修了段階の15歳の生徒が持っている知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測ることを目的とした調査。81ヵ国・地域から約69万人が参加。

ICT×探究 世界基準の授業へ

ノートルダムでは全国に先がけiPadの1人1台環境を整えてきました。自分で考え、探究していく場面においてICTの活用は今や必須です。これからも時代の1歩先をいく姿勢で世界基準の授業を目指していきます。

進学実績

個性に合わせて中学進学をサポート

多くの児童が中学受験をするという本校の実情に合わせて、国語・算数・理科・社会のカリキュラムは6年生の12月までに終了します。担任と進学担当教員は、定期的に実施する学年テストや単元テストをもとに学習の仕方を個別にアドバイスし、放課後・朝の学習会や習熟度別学習で学力の定着を図ります。

合格実績（京都市内私立中学校）

受験校	2023年度	2022年度	2021年度
ノートルダム女学院中学校（内部進学）	グローバル探究コース 7	グローバル探究コース 4	グローバル探究コース 7
	グローバル総合コース 10	グローバル総合コース 12	グローバル総合コース 16
洛星中学校（カトリック校特別選抜制度含む）	24	22	21
洛南高等学校附属中学校	11	5	2
同志社中学校	2	7	6
同志社女子中学校	WR 0	WR 5	WR 2
	LA 4	LA 7	LA 3
立命館中学校	3	4	4
東山中学校	ユリーカ 24	ユリーカ 17	ユリーカ 16
	エース 32	エース 14	エース 14
京都産業大学附属中学校	11	9	10
京都女子中学校	23	14	13

合格実績（国公立・他府県中学校）

受験校	2023年度	2022年度	2021年度
府立洛北高等学校附属中学校	4	3	4
市立西京高等学校附属中学校	1	0	0
灘中学校（兵庫）	1	4	0
神戸女学院中学部（兵庫）	0	0	1
四天王寺中学校（大阪）	1	2	0
高槻中学校（大阪）	11	18	18
東大寺学園中学校（奈良）	3	11	5
帝塚山中学校（奈良）	15	19	9
西大和学園中学校（奈良）	4	2	3

◎内部進学・特別選抜制度

ノートルダム女学院中学校への内部進学制度と洛星中学校とのカトリック校特別選抜制度

女子児童は、ノートルダム女学院中学校へ内部進学することができます。洛星中学校カトリック校特別選抜制度は、カトリック校の連携の一環として、2013年から始まりました。男子児童の一部が、この制度により洛星中学校へ進学しています。
他にも明星中学校とのカトリック小学校特別選抜も2017年度から始まりました。春には、本校にて「私立中学校説明会・進学相談会」が行われ、いくつかの私立中学校の先生方に直接相談する機会もあります。

- 内部進学
  ノートルダム女学院中学校へ進学
- 外部受験

- 特別選抜制度
  洛星中学校へ進学
- 外部受験

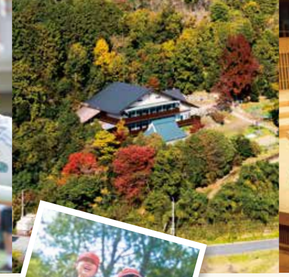
◎ノートルダムの一貫教育

一貫教育だから育まれる「徳と知」

ノートルダム学院小学校のモットー「徳と知」は、ノートルダム女学院中学校・高等学校、そして京都ノートルダム女子大学へも引き継がれます。これから必要となる思考力や英語力を途切れることなく養い、同時に豊かで凛とした人間性も育みます。

ノートルダム女学院中学校・高等学校
〒606-8423
京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町110
TEL：075-771-0570(代)

京都ノートルダム女子大学
〒606-0847
京都市左京区下鴨南野々神町1番地
TEL：075-781-1173(代)



SCHOOL CALENDAR ノートルダムの1年間

4 Apr
- 入学式
- 前期始業式
- 新入生歓迎会

5 May
- 遠足
- 写生会

6 Jun
- 聖母月のミサ・集い

7 Jul
- スポーツフェスティバル

8 Aug
- 遠泳合宿(5年生)
- 写生展

9 Sep
- 夏休み

10 Oct
- 前期終業式
- 後期始業式
- 硬筆大会・硬筆展
- 修養会(6年生)
- NDフェス
- ディスカバリー(6年生)

11 Nov
- 死者月のミサ・集い
- 全校音楽会
- ランフェスティバル

12 Dec
- クリスマスの集い
- 大茶会(1年生)
- もちつき会

1 Jan
- 書き初め大会・書き初め展
- TOEFL Primary(4・5年生)

2 Feb
- 美術展
- スキー学習・合宿
- 英語劇(2年生)
- 卒業茶会(6年生)
- 漢字検定

3 Mar
- 数学技能検定
- 卒業式
- 6年生を送る会
- 修了式

SCHOOL LIFE

ノートルダム学院小学校は勉強をするだけの
場所ではありません。
人と人、老若男女さまざまな人と「関わること」で
人間力や社会性を身につける学舎です。

Partnership

パートナー制度

本校には、上級生と下級生がペアとなって絆を深めあう、パートナー制度があります。様々な学年での交流がありますが、特に1年生には入学したその日に6年生のパートナーができ、普段から一緒に遊んだり、給食など学校生活のお手伝いをしたりして、遊びや学習の模範となります。上級生は、下級生の面倒を見ることで、幼いものを守る気持ち、人のために働くことの喜びを知ります。下級生は、上級生をお手本にし、いつか自分も大きくなったらあのお兄さんお姉さんみたいに、下級生に優しくしてあげたいという使命感を持つようになります。学年やクラスを超えた人間関係は、安心感を与え、心のよりどころになります。パートナーとの絆は、卒業後も続いていくこともあります。

School Uniform

制服紹介

NDブラウンによる格調

特別に染め上げられたノートルダムブラウン。創立以来、愛され続けてきたシンボルカラーです。柔らかな色調の中に、凛とした誇りを込めています。特に活動が活発になる夏は、素材や形にもこだわり、自分らしいスタイルをセレクトできるようにしています。ノートルダム生としての自覚と、個性を育てる制服です。

Winter Style

Summer Style

Sports Style

School Lunch

学校給食

給食は校内で調理。準備や後片付けは子どもたちが主体的に。

和洋中、バラエティに富むそのメニューは、本校の調理員が子どもたちや教員にヒアリングを繰り返し生み出されました。栄養バランスも整えた「安全・安心」はもとより、旬の素材を活かした「美味しさ」も実現しています。そして「手作り」。給食の準備や片付けは、子どもたちが中心となって行います。毎日の給食を通して、子どもたちは「食への感謝」とともに、「食に対する姿勢」などマナーも身に着けていきます。

完全校内調理だからできる
リクエストメニューでアットホームな食事を

校内で献立を考え、調理しているからこそできる独自メニューの開発。毎年給食についてのアンケートを取り、子どもたちの意見を聞いています。特に高学年の子どもたちからは、給食委員さんを通して「卒業までに食べたい給食」のリクエストを受け付けます。リクエストしたメニューが給食に出るかどうかはお楽しみ。評判がよければ、そのまま定番メニューになることも。みんなの思いがこもったアットホームなお昼ご飯です。

アンケートは年2回！
食べたいもの、好きなものを
お願いしてみよう！

Facility

施設紹介

格式と柔軟さを備えた校舎に、保護者の皆さま、児童、教職員の声を活かしたさまざまな設備が整えられています。「コミュニティ」を重視したロの字の全体レイアウトやスペースが、「明るいコミュニケーション」の環境を生み出します。

1.大運動場／2.聖堂／3.テレビスタジオ／4.礼法室／5.コミュニティプラザ／6.体育館／7.音楽室／8.プール／9.図書室

Check! 学校のバーチャルツアーは
こちらからご覧いただけます

Club

クラブ活動

文化系・体育系のさまざまなクラブ活動があります。指導体制も充実。他学年との交流も活発で、正課にはない学びや体験があります。練習時の努力や、大会や舞台へ向かう緊張感、仲間との協力は、一生ものです。

体育系　■バスケットボール　■ドッジボール　■卓球
■バドミントン　■アスリート　■サッカー　■ソフトボール

文化系　■ICT　■科学　■英語　■算数　■クック&ソーイング
■ボランティア　■オーケストラ　■ブラスバンド　■合唱
■お琴　■美術　■将棋　■茶道　■華道

AFTER SCHOOL

放課後も安全な学校で過ごし、更に学べる環境をご用意しています。お子様のご希望や各ご家庭の事情にあわせてご活用ください。

After School Activity

多彩な講座で好奇心を育て、磨く。

アフタースクールアクティビティは、放課後や土曜日に学校内で実施する
多様な講座の総称で、保護者の送迎なしで受講することができます。
子どもたちの好奇心や秘めた才能は、さまざまな経験をきっかけにして花開きます。
月に一度「親子アクティビティ」も開講しています。

〈English〉

各学年や英語能力に合わせた放課後のEnglish Lesson。
本校のネイティブ教員が関わっているので、安心して英語力を高められます。

After School English G1&G2 1・2年生
オールイングリッシュのレッスン。低学年の児童の特性を活かして体や頭を使い、聞く・読む・話す・書く の4技能をバランスよく学ぶ。

After School English G3toG6 3〜6年生
オールイングリッシュのレッスン。中学年以降の児童の発達に合わせ、他教科の学びも活かしながら、読み書きを中心に丁寧に英語を学ぶ。

Advanced English 全学年
帰国生をはじめ、既に高い英語力の児童が対象。経験豊富なインターナショナルスクール教員と本校のネイティブ教員が指導する。英語で考え、作文し、発表するなどプロジェクト学習を行う。レベルチェックテスト受験必要。

English for Test Preparation 2〜6年生
外部試験受験を希望する児童が対象。英検・TOEIC・TOEFLにつながる問題を使いながら、リスニング力、読む力、発信力を高める指導を本校ネイティブ教員が行う。テストの受検は任意。

〈各教室〉

和太鼓 全学年
和太鼓の演奏を通して、体と心を鍛える。週1回太鼓センター専属講師が指導。

そろばん教室 全学年
そろばんを使って計算力と右脳の力を高める。週1回全国珠算教育連盟京都府支部所属の講師が指導。

理科実験教室 全学年
科学実験を体験し、学び楽しむことで「探究心」を持続。更に結果を分析し、レポートに表現することで「論理的思考力」を獲得する。月3回専任講師が指導。

算数パズル教室 全学年
パズル学習により、粘り強さ・論理的思考力・分析能力・空間把握力などを育成し、脳を鍛える。また、中学入試においてもパズルの思考を必要とする問題が増加中である。月3回専任講師が指導。

ギター・ウクレレ 全学年
（グループレッスン）
楽しく技術を身につけながら、独奏では得られない合奏のグループ（一体感）を感じられる。更に「できた!」という達成感は、子どもたちの自己肯定感を育てる。

体操 2〜6年生
側転・倒立・転回・跳び箱等、マット運動を中心に行う。週1回コヤマスポーツ専属講師が指導。

プログラミング教室 1〜4年生
オリジナルのロボットを作ってプログラミングで動かす。希望者は大会出場も可能。月2回プログラボの専属講師が指導する。

楽習言葉力教室 全学年
聞く・読む・話すの力を伸ばすオンライン学習と漢字検定教育の公式教材アプリを駆使し、語彙力・文章読解力・文章作成力を養成する「言葉力」に特化した教室。月3回専任講師が指導。

速脳速読講座 全学年
脳科学に基づいた速読で速読力を向上。読書が好きになり、勉強はもちろん、受験に強くなり将来的に仕事の効率化にもつながる。月3回専任講師が指導。

〈個人レッスン〉

ピアノ 全学年
ピアノ奏法の基礎を学ぶ。音楽に親しみ、豊かな感性を育む。学校個人レッスン室を使用。週1回30分程度。校内発表会で演奏する。

フルート 全学年
フルート奏法の基礎を学び、音楽を通して西洋の歴史、文化への興味を育む。学校個人レッスン室を使用。月2回程度。校内発表会で演奏する。

ヴァイオリン 全学年
楽器の構え方から、丁寧に指導。楽器を通して音楽の楽しみを見つける。学校個人レッスン室を使用。月2回程度。校内発表会で演奏する。

お琴 全学年
講師は琴三味線演奏家　三好晃子先生。お稽古では、基礎から発展まで幅広く習うことができ、確かな技術と豊かな心の育成を目指す。

サックス 全学年
基礎から発展まで幅広く学ぶことができ、校内発表会を目指して練習を積み重ねていく。個人レッスンのため、講師との距離が近いのも魅力の一つ。

〈親子教室〉

親子華道 全学年
季節の花の美しさに触れる。未生流笹岡家元笹岡隆甫先生が指導。月1回程度土曜日に開講。親子で参加。

親子茶道 全学年
茶道の作法を学び、伝統文化に親子で触れる。シスターアグネスが指導。月1回程度土曜日に開講。親子で参加。

親子ステンドグラス 全学年
季節の作品作りを楽しむ。毎回作品を完成。佐々木真由美先生が指導。月1回程度土曜日に開講。親子で参加。

〈サッカー教室〉VIRTUS 全学年
京都府サッカー協会にも登録されている独立したクラブチーム。本校大グラウンドにて、元プロ選手など、子どもが大好きで経験豊富なスタッフ陣によるコーチングのもと、週に4回程度活動。チームプレーや努力することの大切さを知り、みんなで勝つ喜びを体験することをモットーにしている。
※体験は無料

〈水泳教室〉踏水会 全学年
京都踏水会では、水泳を通して健全な精神と体力を養う事を目的に、顔つけなどの水慣れからバタ足、クロール、平泳、さらに日本泳法の基礎を学ぶことができる。京都踏水会のご協力により、送迎バス（基本は週に一度）が本校に乗り入れをしており、学校から直接、安全に通うことができる。

After School Care 1〜3年生対象

※株式会社セリオに委託しております。

学校は家族です。放課後にも居場所があります。

楽しい校内学童保育ASC（アスク）

ASC（アスク）は、アフタースクールケアの略称です。放課後や土曜日、夏休みなどに、お仕事のある保護者の方に代わって、お子さまを預かりサポートするシステムです。合言葉は「ただいま」。子どもたちにとって、そこが家であるかのような存在でありたいと取り組んでいます。ASCルームでは、宿題を終えたら、お兄さんお姉さんと遊んだり、先生に読み聞かせをしてもらったり、おやつを食べたり・・・。アットホームで有意義な時間があります。

◎授業日／授業終了後〜18:30
◎土曜休日／8:30〜17:00
◎長期休暇中／8:30〜18:30
（夏休み20日前後、冬休み3〜5日前後）

〈ASCの生活〉
授業終了後〜18:30 …… 宿題、放課後のアクティビティ、おやつ、自由遊び・読書・イベントプログラムなど
土曜休日：8:30〜17:00 …… 宿題、土曜のアクティビティ、お弁当・休憩、自由遊び、イベントプログラムなど

ショートASC

保護者の皆さまの多様なライフスタイルにあわせて、お迎えなしで下校できるシステムがショートASCです。お預かりは17:00まで対応しています。1年生から6年生までの全学年が対象です（4年生以上の児童は、3年生までの弟妹がいる場合のみご利用いただけます）。

◎授業日／授業終了後〜17:00
◎土曜休日／8:30〜17:00
◎長期休暇中／8:30〜17:00
（夏休み20日前後、冬休み3〜5日前後）

Message
ごあいさつ

ノートルダム教育

カトリックのミッション校である本校は、1954年に開校し、今年創立70周年を迎えます。ノートルダム教育修道女会の創立者マザーテレジア・ゲルハルディンガーの「人が変われば　世界が変わる」という言葉にあらわれる教育にかけた思いは、190年の時を経た現在も、本校をはじめとする世界中のノートルダムの学校に脈々と受け継がれています。
変化の激しい現代社会において、多様化する問題に答えが見出せなかったり、道を見失ったりすることがあるかもしれません。しかし、幼い時期に神の愛を知り、他者を思いやるやさしさを体験しながら成長すると、大切なことを見失わずに歩み、平和な世界をつくるために貢献できるのではないかと考えます。
将来の成長につながる人生の土台をつくり、豊かな学びの6年間となりますように、創立者の精神を引き継いで、一人ひとりに向き合ってまいります。

ノートルダム学院小学校 校長　**原山 稔郎**

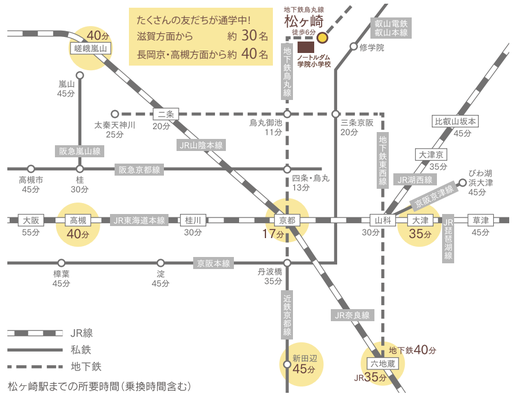
ノートルダムでは、教育モットーとして「徳と知」を掲げております。
これを「尊ぶ」「対話する」「共感する」「行動する」という四つのキーワードにまとめ、「ミッション・コミットメント」として教育の軸としております。教職員・児童が、神、自然、自分、他者との日々のかかわりの中で成長し続けるよう、それらのかかわりを尊び、向き合って対話し、真心から共感し、勇気と希望をもって行動する事こそがノートルダム教育です。

学校法人ノートルダム女学院
理事長
和田 環
（シスターモーリーン）

History 沿革

1948年　学校設立のため4名のシスターが
　　アメリカ ミズーリ州のセントルイスより来日
1954年　ノートルダム学院小学校開校
1955年　野々神町の小学校新校舎竣工
1957年　4年生以上は男女別編成となる
　　学校給食開始
1966年　特別教室棟（聖堂・理科室・音楽室等）竣工
1968年　プール竣工（メインプール25m×6コース、円形プール）
1972年　体育館・食堂竣工
1984年　創立30周年
　　山の家竣工　山の家学習始まる
1991年　TV放送施設設置
1995年　講堂・特別教室竣工
　　（図工室・コンピューター室・TVスタジオ 等）
1999年　遠泳合宿始まる
2001年　2期制（前期・後期）の実施
2004年　創立50周年記念事業
　　（床可動式プール竣工・校内LAN敷設・マリアンホール完成）
2013年　ヴィアトール学園との法人間協力のもと
　　洛星中学校へのカトリック校特別選抜制度が誕生する
2014年　創立60周年　新校舎竣工
2024年　創立70周年

Access 交通アクセス



- JR京都駅から　約17分
- JR高槻駅から　約40分
- JR大津駅から　約35分
- JR嵯峨嵐山駅から　約40分
- JR六地蔵駅から　約35分
- 地下鉄六地蔵駅から　約40分
- 近鉄新田辺駅から　約45分
- 市バス ❹［野々神町］下車2分
  ［京阪出町柳駅］より 13分
  ［京都河原町駅］より 30分
- 市バス 北❸［野々神町］下車2分
  ［修学院駅］より 10分

安全への取り組み

- 児童の登下校中は正門に警備員が立ち、児童の安全を見守っています。
- 京都市内をはじめ大阪、滋賀等多方面から電車やバスを利用して登校する児童も。
- 登校・下校時正門を通過したことが保護者の方にメールで伝わるシステムとなっています。
- 校内には防犯カメラ・防犯ベルを設置し、児童の安全を見守ります。
- 全校児童の避難訓練、教員の防犯や救命救急の研修を実施しています。